

＼新バリアフリー型／

ユニバーサルデザイン旅客搭乗橋を導入

長崎空港ビルディング株式会社(本社:大村市、代表取締役社長:幸重 孝典)は、3月27日よりユニバーサルデザインの旅客搭乗橋 = パッセンジャーボーディングブリッジ (以下 PBB)を導入します。

これまでの PBB は、トンネル伸縮部に段差が生じるため、車椅子ご利用のお客様には快適性が損なわれる状況でした。今回、ユニバーサルデザイン PBB の導入により、段差による不快感を取り除き、車椅子ご利用のお客様はもちろん、全てのお客様にとって、より安全で快適な乗降が可能となります。

弊社はこれからも「地域に貢献し、共に成長できる空港」を目指してまいります。

(イメージ画像)



<ユニバーサルデザイン PBB について>

- ◆トンネル継目部の渡り板勾配が緩やかになり、車椅子も安全・快適な通行が可能
- ◆トンネル通路内の雨樋の幅を 157mm から 55mmに狭め通路幅を広げたことで、歩行時の安全性が向上
- ◆シンプルな床構造で、不具合発生確率の低減が期待できる
- ◆名称:ユニバーサルデザインPBB(UD-PBB)
(製造:三菱重工交通・建設エンジニアリング株式会社)

以上

【取材に関するお問合せ】

広報営業課 大崎 (TEL)0957-52-8909 (MAIL) koho@nabic.co.jp

【ユニバーサルデザイン PBB に関するお問合せ】

施設保安課 安田 (TEL)0957-52-5554